

研究タイトル:

太平洋を越境する移民と地域史との関係の研究



氏名: 岡本 直美 E-mail: nokamoto@gifu-nct.ac.jp

職名: 講師 学位: 博士(現代アジア研究)

所属学会・協会: 日本移民学会、同時代史学会、カルチュラル・スタディーズ学会

キーワード: 人びとの移動、トランスパシフィックスタディーズ、沖縄近現代史、記憶の継承

技術相談
提供可能技術: フィールドワーク

研究内容:

私はこれまで、沖縄の人びとと土地との関係について研究してきました。沖縄は、「移民県」とも呼ばれるほど、戦前から多くの移民を送り出してきました。人びとは、日本本土だけでなく、アメリカ合衆国などの北米や、キューバ、ペルーなどの中南米など、世界の様々な地域に渡りました。近年は、「世界のウチナンチュ」と呼ばれるように、多様な地域の沖縄系の人びとと沖縄に住む人びととの交流も活発になり、歴史や記憶を学び合い、共につくるような動きがみられます。このように、沖縄にルーツを持つ人びとと、沖縄に暮らす人びと、両者にとっての「沖縄」とは何かについて研究しています。

このような研究背景を踏まえ、現在は、ハワイの沖縄系移民と沖縄住民との越境的なコミュニティの形成に関心を持っています。特に、米国統治下の沖縄における政治のなかで、このコミュニティがいかなる役割を担ったのかについて研究を進めています。米国政府や沖縄の米国民政府、琉球政府、日本政府など、多様な政府関係資料とともに、現地のフィールドワークを行っています。

従来の研究では、沖縄の地域史は、定住者の視点から考察されてきた側面が大きいです。本研究は、移動者(移民者)の視点も加えて考えるものになります。沖縄の歴史を、日本の一部としてだけでなく、環太平洋地域との繋がりなど、よりグローバルな人的繋がりから研究することを目標にしています。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	